

セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1	製品識別名	
	製品名	M-Bond 200 Adhesive
	化学物質名	混合物。
	CAS 番号	混合物。
	EINECS 番号	混合物。
	REACH 登録番号	割り当てられていない。
1.2	当該物質または混合物の記載されている重要用途および 指導対象の用途	
	記載されている用途	接着剤。
	~ に対して助言された用途	知られていない。
1.3	安全性データシート供給者の詳細	
	会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire イギリス RG24 8FW +44 (0) 1256 462131 +44 (0) 1256 471441 mm.uk@vishaypg.com
	電話	
	F a x	
	E メール(担当者)	
1.4	緊急電話番号	(00-1) 703-527-3887 CHEMTREC

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1	物質または混合物の分類	
2.1.1	欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)	皮膚腐食性 区分 2 ; H315 眼刺激性物質 区分 2 ; H319 特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3 ; H335
2.2	表示要素	欧州 CLP 規則 (No.1272/2008) によれば
	製品名	M-Bond 200 Adhesive
	危険性を表す絵文字	
	注意喚起語	警告
	次を含有する:	Ethyl 2-cyanoacrylate

改訂: 2.0 日付: 28.10.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

危険有害性情報

H315: 膚刺激性。
H319: 強い眼刺激。
H335: 呼吸刺激を起こすおそれ。

危険有害性情報

P261: 蒸気の吸入を避ける。
P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。
P302+P352: 皮膚に触れた場合: 水でよく手を洗うこと。
P304+P340: 吸い込んだ場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすいよう安静にすること。
P305 + P351 + P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308 + P313: 暴露又は暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

追加情報

EUH202: シアノアクリレート。危険。瞬間的に皮膚や目を接着する。子供の手の届かないところに置くこと。

2.3 他の危険有害性

なし。

セクション 3: 組成/成分情報

3.1 物質 該当なし。

3.2 混合物

EC 分類 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	REACH 登録番号	危険有害性分類
Ethyl 2-cyanoacrylate	80 - 100	7085-85-0	230-391-5	割り当てられていない。	皮膚腐食性 区分 2; H315 眼刺激性物質 区分 2; H319 特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3; H335 (SCL: C ≥ 10%)
2-Propenoic acid, 2-methyl-, methyl ester, homopolymer	10 - 20	9011-14-7	618-466-4	割り当てられていない。	分類されていない。

H/P フレーズのテキスト全部分については、セクション 16 を参照する。

セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

吸い込んだ場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすいよう安静にすること。体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。

皮膚接触

皮膚に触れた場合：水でよく手を洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。重合熱: 溶融物は重度の熱傷をもたらす可能性がある。溶融ポリマーを皮膚からはがそうとせず、ただちに水で冷やすこと。

目の接触

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

摂取

予想外の暴露経路。飲み込んだ場合は、水で口をすすがせる。(但し、意識がある場合のみ)。無理に吐かせない。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。

4.2 最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)

シアノアクリレート。危険。瞬間的に皮膚や目を接着する。子供の手の届かないところに置くこと。呼吸刺激を起こすおそれ。重大な目への刺激を引き起こす。膚刺激性。やけどすることがある。

4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

過剰な粘着物を取り除きます。石けんの入ったぬるま湯またはぬるい1%の重曹溶液につけます。数時間後には粘着物は皮膚からはがれてきます。乾燥した粘着物は皮膚に付着した場合でも健康を害する恐れはありません。万一目の場合は、ぬるま湯で目をしっかり洗ってガクを当てます。何もしない場合は1日から4日で目が開けます。残留損傷はないでしょう。触診で目を開けようとする事は避けてください。

セクション 5: 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。

不適切な消火剤

ウォータ-ジェットを使用しない。

5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性

燃焼または熱分解により、有毒な刺激性蒸気が発生する。一酸化炭素、二酸化炭素、シアン化物と窒素酸化物類。蒸気は、発火する可能性があります。

5.3 消防士へのアドバイス

消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

セクション 6: 漏出時の措置

- | | | |
|-----|------------------------|---|
| 6.1 | 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置 | 適切な換気を確保する。蒸気の吸入を避ける。全ての接触を避けること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. |
| 6.2 | 環境的予防措置 | 環境に排出しないようにする。排水路、下水道または水路に入らないようにする。 |
| 6.3 | 封じ込めと清掃のための方法および資材 | 流出物を取り除く間、適切な保護具を着用する。布でふき取ることはお止めください。洪水の水が完全に重合し床をこすり落としてしまいます。治癒した材料は無害廃棄物として処理される場合があります。 |
| 6.4 | 他のセクションの参照先 | 次の項を参照: 8, 13 |

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- | | | |
|-----|------------------------|---|
| 7.1 | 安全な取り扱いのための注意事項 | 適切な換気を確保する。蒸気の吸入を避ける。全ての接触を避けること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行ってはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。湿気を遮断する。 |
| 7.2 | 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む) | 換気の良い (乾燥した) 冷所/低温の場所に貯蔵すること。容器を閉じておくこと。 |
| | 保管温度 | 常温の。 < 24°C. |
| | 保管期間 | 普通の状態で安定。 |
| | 混触危険物質 | ~ から離すこと: 水, アルコール類, 酸類, アルカリ類, 過酸化物質, . |
| 7.3 | 具体的最終用途 | 接着剤。 |

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

- | | | |
|-------|------------------------|---|
| 8.1 | 管理指標 | |
| 8.1.1 | 職業暴露限度 | 確立されていない。 |
| 8.1.2 | 生物学的限界値 | 確立されていない。 |
| 8.1.3 | PNEC および DNEL | 確立されていない。 |
| 8.2 | 暴露管理 | |
| 8.2.1 | 適切な工学的管理 | 適切な換気を確保する。職業暴露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。 |
| 8.2.2 | 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置 | 化学物質取り扱いのための一般的な衛生手段が適用できる。全ての接触を避けること。蒸気の吸入を避ける。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。作業場所では飲食、喫煙を行ってはならない。 |

目/顔面の保護



液体の飛沫から保護するため保護めがねを着用すること。側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。

皮膚の保護



手の保護: 不浸透性手袋を着用すること。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。推奨: ポリ塩化ビニル(PVC) / ニトリルゴム。

体の保護: 多量の場合 - エプロンやその他の軽い防護服を着用してください。推奨: ポリエチレン(PE)。

呼吸器の保護



換気のよい場所でのみ取り扱う。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。多量の場合 - 適切な呼吸用保護具を着用する。

熱の危険性

重合熱: 溶解物は重度の熱傷をもたらす可能性がある。溶解ポリマーを皮膚からはがそうとせず、ただちに水で冷やすこと。

8.2.3 環境暴露コントロール

環境に排出しないようにする。

セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観

物質の物理化学的特性 Ethyl 2-cyanoacrylate.

透明な。液体。

におい

刺激性の。におい

臭いの閾値

資料なし。

pH

確立されていない。

融点/凝固点

-31°C (EU Method A.1)

初留点と沸騰範囲

214°C (EU Method A.2)

引火点

82.5°C [クロ-ズド カップ] (EU Method A.9)

蒸発速度

確立されていない。

燃焼性 (固体、ガス)

該当なし。 - 液体。

上限/下限可燃性または爆発限界

資料なし。

蒸気圧

<21 Pa @ 20°C

蒸気密度

>1 (航蟻 ir = 1)

相対密度

1.043 EU Method A.3

溶解度

24 µg/L in 水 (EU Method A.6)

分配係数: n-オクタノール/水

0.776 (log Pow).

自然発火温度

480°C (EU Method A.15)

分解温度

資料なし。

粘度

資料なし。

改訂: 2.0 日付: 28.10.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

爆発性	資料なし。
酸化性	非酸化性。

9.2 その他の情報 揮発性有機化合物含有量 (%) : 1000 g/l

セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性	普通の状態安定。
10.2 化学的安定性	普通の状態安定。
10.3 危険な反応の可能性	湿気に曝露されると、重合する可能性があります。
10.4 避けるべき条件	...°C 以下の温度で保管する: 24°C. 湿気を遮断する。
10.5 混触危険物質	~ から離すこと: 水, アルコール類, 酸類, アルカリ類, 過酸化物類。
10.6 危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。一酸化炭素、二酸化炭素, シアン化物 と 窒素酸化物類。

セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)	
急性毒性	
摂取	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
吸入	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 20 mg/l。
皮膚接触	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
皮膚腐食性/刺激性	皮膚腐食性 区分 2: 膚刺激性。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	眼刺激性物質 区分 2: 重大な目への刺激を引き起こす。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
生殖細胞変異原性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
発がん性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
生殖毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
特定標的臓器への毒性 (単回暴露)	特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3: 呼吸刺激を起こすおそれ。
特定標的臓器への毒性 (反復暴露)	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
吸引性呼吸器有害性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
11.2 その他の情報	なし。

セクション 12: 環境影響情報

12.1 毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 推定 混合物。LC50 >100 mg/l (魚類)
---------	---

改訂: 2.0 日付: 28.10.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

12.2	残留性および分解性	データなし; 技術的に不可能
12.3	生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性がない。
12.4	土壌中の移動度	製品は土壌中で移動性が低いと予想される (水に不溶)。
12.5	PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6	その他の有害な作用	知られていない。

セクション 13: 廃棄上の注意

13.1	廃棄物処理法	この物質や容器は有害廃棄物として処理する。廃棄物は、承認された廃棄物処理施設に廃棄すること。
13.2	追加情報	内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

セクション 14: 輸送上の注意

運送時に危険物として分類されていない。例外 航蟻 ir

14.1	国連番号	IATA UN 3334
14.2	UN 適切な船積み名	Aviation regulated liquid, n.o.s. (Cyanoacrylate ester)
14.3	輸送危険分類	9
14.4	輸送危険分類	III
14.5	環境に対する危険	海洋汚染物質として分類されていない。 / 環境的に有害な物質
14.6	使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2
14.7	MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。
14.8	追加情報	Primary packs containing less than 500ml are unregulated by this mode of transport and may be shipped unrestricted. Packaging instructions (passenger): 906 Packaging instructions (cargo): 906

セクション 15: 適用法令

15.1	特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律	
15.1.1	EU 規制	
	高懸念物質 (SVHCs)	なし。
	使用の承認および/または制限	なし。
15.1.2	国の規制	
	Wassergefährdungsklasse (ドイツ)	水質危険クラス: 分類されていない。
15.2	化学物質安全性評価	資料なし。

改訂: 2.0 日付: 28.10.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS) と既存の ECHA 登録 Ethyl 2-cyanoacrylate (CAS# 7085-85-0) と以下の分類・表示インベントリ 2-Propenoic acid, 2-methyl-, methyl ester, homopolymer (CAS# 9011-14-7).

物質または混合物の分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば	分類手順
皮膚腐食性 区分2; H315	閾値計算
眼刺激性物質 区分2; H319	閾値計算
特定臓器毒性(単回暴露) 区分3; H335	閾値計算

注釈

LTEL: 長期暴露限界

PNEC: 推定無影響濃度

STEL: 短時間暴露限界

PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性

DNEL: 求められた無影響量

vPvB: 高難分解性、高生物蓄積性

危険有害性情報

H315: 膚刺激性。

H335: 呼吸刺激を起こすおそれ。

H319: 強い眼刺激。

SCL: 特定の濃度限界

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被曝の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件(法的なあるいはそうでない)はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません(欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS) の付録

利用可能な情報なし。